

# 子育て・子育て支援情報 27

問合せ先 市役所こども育成グループ  
☎52-1111(内線362・363)  
Eメール ikusei@city.takahama.lg.jp

市役所こども育成グループから、子育て・子育て支援に関する情報を毎月1日号で、お知らせします。

## GO GOはまキッズが行く

市内の子育て支援センター、いちごプラザ、子育て支援グループが合同で、未就園児を対象として実施するイベントが「GO GOはまキッズが行く」です。普段はそれぞれが独自に子育て支援に取り組んでいます。このイベントでは各グループが日ごろの経験を持ち寄って、楽しいイベントを企画しています。6月19日(火)には、保健センタ



ーを会場に、子どもまつりが開催されました。87組の親子が集まり、会場は熱気で包まれました。イベントを主催する各グループは、趣向を凝らしたブースを用意し、親子を迎えました。



## 今月の手づくりメニュー

今月から、こども食育マスコットキャラクターの「かわら食人カワラッキー」が、保育園で子どもたちが食べている給食やおやつの方の一部をご紹介します。

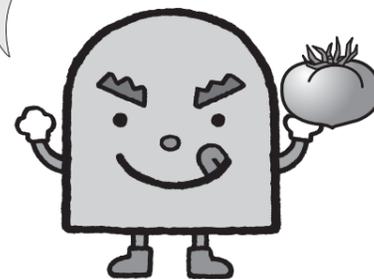
トマトと卵のスープ  
材料(1人分)  
トマト25g  
卵15g

- 玉ねぎ20g
- パセリ0.5g
- 油少々
- コンソメ2g
- 醤油少々

### 作り方

- ①トマトは角切り、玉ねぎは薄切り、パセリはみじん切りにする。
- ②鍋に油を熱し、玉ねぎを炒め、しんなりしたら水とコンソメを加える。
- ③沸騰したらトマトを加え、醤油を少量入れる。
- ④再び沸騰したら溶き卵を流し入れる。
- ⑤最後にパセリを浮かせる。

トマトは一年中出回っているけれど、旬は夏。今が一番おいしい時期だよ。トマトの赤は、リコピンという色素。がん予防の効果があることで注目されているよ。



## コラム

### たかはま子ども市民憲章

高浜市では、10月26日(金)・27日(土)に「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムを開催します。

このシンポジウムは、国連子どもの権利条約の実現を図ることを目的とした早稲田大学喜多明人氏をはじめとする学識経験者および行政職員を中心に平成14年兵庫県川西市で開催されて以来、毎年開催されています。

高浜市では、平成15年11月に「たかはま子ども市民憲章」を制定し、この普及啓発を行っています。このシンポジウムに関する先生たちに子ども市民憲章に関するメッセージをお願いし連載しています。皆さんと一緒に、子どものことを考えてみませんか。

## 子ども施策として大切にしたいこと

浜田 進士氏



浜田進士氏

◆略歴  
聖和大学人文学部准教授(兵庫県西宮市)、子どもの人権ファシリテーター(促進役)著書『新しい開発教育の進め方』地球市民を育てる現場から(古今書院)、『イラスト版子どもの権利 子どもとマスターする50の権利学習』(合同出版)など

現在、全国各地で子どもの権利を救済する条例ができていますが、この条例について、相談をした子ども自身はどのように捉えているのでしょうか。私は2004年、兵庫県川西市子どもの人権オンパスパートナー制度によって、支援を受けた子どもへの聞き取り調査を実施

しました。「子どもの語り」から明らかになったことを一部紹介します。それは、「子どもは、気持ちを聴き秘密を守ってくれる人間を信じる」、「自分が問題解決の主人公である、と実感できたときに、子どもの権利回復はより積極的になすむ」ということです。まず「ゆっくり気持ちを話せた」「お母さんには言わないで、っていう約束を守ってくれた」「私の話を聞いてくれるだけでなく、その上でどういう風に悪いかを考えてくれた。学校の悪いところも自分の悪いところも指摘してくれた」と子どもたちは相談員が、気持ちを聴いてくれたこと、さらに自分の問題点も含めて問題を整理してくれたことに喜びを感じています。

次に、「こんなこともあんなこともできるよ」、「学校にオンパスがいくこともできるよ」、「もし相談したくなったら、電話してくれていいよ」と相談員が言ってくれたり、「図表を示していろんな解決法を教えてくださいました。」「子どもたちが自分で解決するための情報と選択肢を与えてもらったことを評価しています。さらに、おとな不信だった子どもたちが、「最初は仕事でやっていると思っていたが、相談員と話しているうちに、この人はほんとに子どものために聞いてくれるんやと思えるようになった」、「相談員からは、話していることから心が伝わってくる」と、おとなや自分に対して信頼を回復しつつあることが想像できます。相談員への信頼と安心から子どもは相談員に心を開き、自分の傷ついた体験を共有してもらおうとする対話が生まれます。その対話の中から問題解決に向かおうとする子どものパワーが生まれてくるのが明らかになりました。その際、プライバシー(自分の心と体の情報)をコントロールする権利が自分にあるんだと実感することが回復を促進しています。



おもちゃ遊びのコーナーでは、温もりのある木のおもちゃや手作りおもちゃが用意されました。また、うちわ作りのコーナーでは、親子で子どもの手形入りのうちわを完成させ、思い出作りをしていました。遊んだ後の親子には、手作りおやつコーナーが大人気。打ちたてのそばや親子で作るわらびもちに舌鼓を打つ姿が見られました。他に身体測定や相談のコーナーもあり、親子にとって充実した1日となりました。

今後は8月23日(木)に水遊び、10月には運動会が予定されています。いずれも昨年大好評だったイベントです。イベントの情報は、よいいけ保育園、高浜南部保育園、翼幼保育園の各子育て支援センター及びいちごプラザ、子育て支援グループ「ぐるんぱ」「ANNAK」などで案内します。一度、遊びにきてみませんか。